

神恵内村

1324 藤田久嗣

1. 神恵内村の概要

1.1 地名の由来

村名「神恵内」の語源は、アイヌ語の「カムイナイ」からきており、「美しき神秘的な沢」という意味である。

1.2 神恵内村の歴史

古くから漁業のまちとして栄えてきたので、神恵内村と漁業がどのように密接に関わってきたのかを中心に見ていきたい。

江戸時代からフルウ場所として開かれ、近江商人田村新十郎らが場所請負人となっており、ニシン・アワビ・ホッケ等を産したと記録にある。ニシン漁も刺網から箆網。建網と改良されていき、江差漁民による大網漁反対による実力行使も起きるが、やがて大網漁も許可されるようになり、1868 年頃からタラ釣り漁も盛んになる。その後も漁業で栄え、1888 年には、ニシンの漁獲高が古字郡全体で 3 万 5 千石を上げている。1892 年に、ノット金山・珊内銀山・シシャモナイ銀山も開業しているが、後に閉山している。

明治 30 年代から 40 年代頃までがニシンの全盛期であったとされ、1912 年には、古字郡全体で 6 万 2 千石で全道第 1 位となっている。しかし、大正末期からニシンが衰退していき、大正半ばから本格化してきたホッケ・マス・タコ漁に転換せざるを得なくなった。

昭和に入り、神恵内港築港も始まり白川漁港等、港の整備を進め、戦後は 200 海里問題や資源の減少等、厳しい漁業環境の中で「獲る漁業」から「育てる漁業」に力が注がれ、昭和 50 年代になるとサケ・マス水産孵化場・アワビ幼稚子保育場・アワビ中間育成センターが完成、ウニ・ホタテ・ヒラメ等の養殖も積極的に行われ、サクラマス養魚飼育場も珊内に完成した。

図 1 サクラマス幼魚施設



出典：神恵内村漁協 HP

1.3 地理的概要

神恵内村は、積丹半島の西側に位置しており、日本海に面している。また、ニセコ積丹

小樽海岸国定公園に属しており、海岸線は窓岩等の奇岩が連なる景勝地となっている。積丹半島周回道路、国道 229 号線も開通し船でしか訪れることのできなかった西の河原も徒歩で行くことが可能となった。北部は積丹町、東部は古平町、南部は泊村と隣接している。面積は 147.71km² で、北緯 43 度、東経 140 度である。

図 1 神恵内村の位置 1



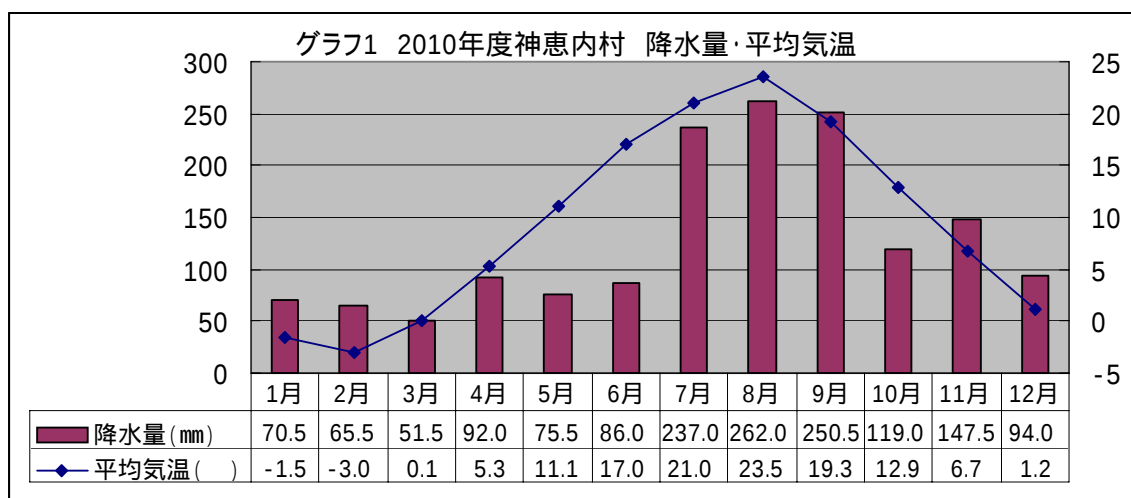
出典：ウィキペディア

図 2 神恵内村の位置 2



出典：ウィキペディア

1.4 神恵内村の気象

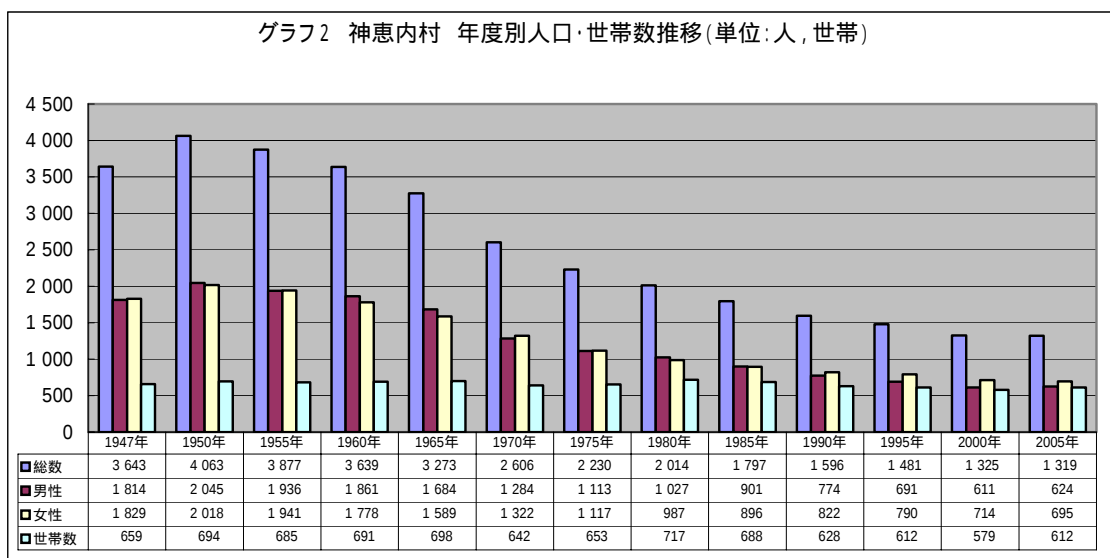


出典：気象庁 HP より筆者作成

神恵内村は 2010 年において、年平均気温が 9.5 °C、年間降水量が 1451 mmであった。また、最高気温が 30.1 °C（8 月に記録）、最低気温が-13.1 °C（2 月に記録）ということから、非常に寒暖の差が激しい地域であるといえる。降水量が多いのは 7 月から 9 月にかけてで、いずれの月も 200 mmを越えている。降雪地帯は 12 月から 2 月にかけて、降水量が多くなる傾向があるが、神恵内村にはそれがあまり見られない。このことから、神恵内村では、冬の降雪量が少ないと考えられる（グラフ 1）。

2. 神恵内村の人口・世帯数

神恵内村の人口は、過去 70 年間の統計を見ると 1950 年の 4,063 人が最多であった。しかし、1950 年以降、人口は年々減少傾向にあり、30 年後の 1980 年には 2,014 人と半減してしまっている。その後も人口は減少し続け、2005 年には、ピーク時の 1/3 を下回る 1,319 人となった。そして、現在も人口は減少を続けている。一方で、世帯数は、多少の増減はあるものの、70 年間で大きな変化は見られない（グラフ 2）。



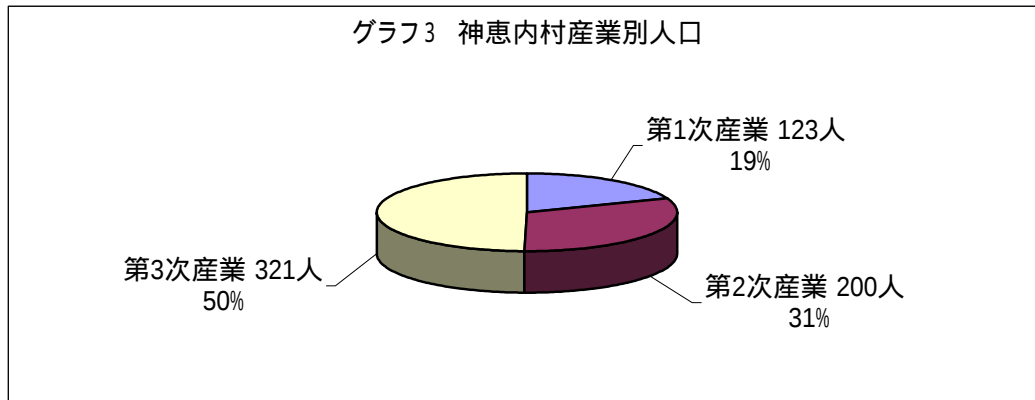
出典：国勢調査

このことから、神恵内村では、過疎化が進んでいると考えられる。また、世帯数に大きな変化がないこと、人口が減少し続けていることから、核家族化が急激に進んでいるとも考えられる。若者の村離れ、生産人口年齢の高齢化は、神恵内村が抱えている問題の 1 つであるといえる。

3. 神恵内村の産業

3.1 産業別人口

第 3 次産業従事者(サービス業等)が最も多く、全体の半数近くを占めている。次いで、第 2 次産業、第 1 次産業となっている(グラフ 3)。だが、神恵内村は漁業が盛んであるもので、本来ならば第 1 次産業従事者の割合がもっと多くなるはずである。第 1 次産業従事者の割合が少ない理由として、先ほども指摘したが、やはり村の少子高齢化が進んでいることではないだろうか。主な漁業従事者が若者ではなく、高齢者であること(65 歳以上の漁業就業者が、全体で 51.2%を占めている)が、村の少子高齢化が進んでいることを物語っている。



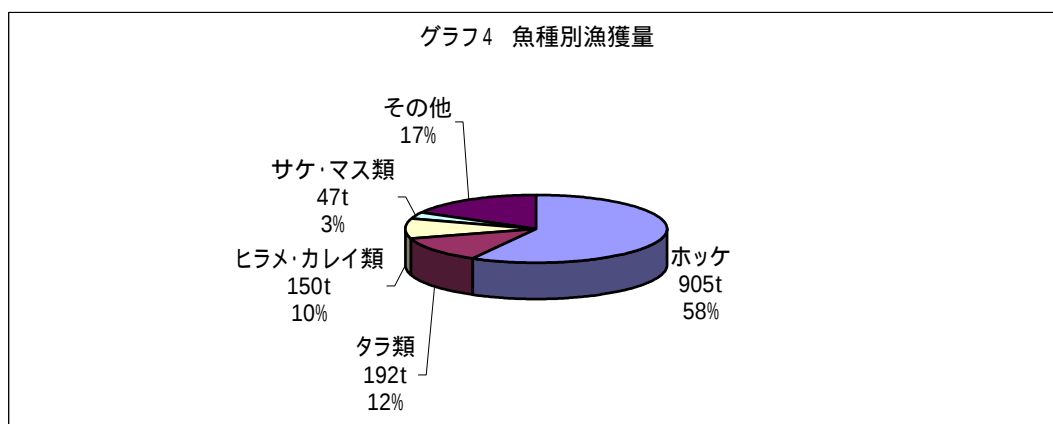
出典：わがマチ・わがムラ

3.2 農業

神恵内村の全農家数は、わずか 2 戸であり、2 戸とも自給的農家である。つまり、販売農家はいないことになる。

残念ながら、神恵内村の農家人口は、2000 年を最後に 0 人のままである。原因としては、耕地率の低さ（0%）や、生産年齢人口の高齢化、（現在の日本同様に）若者の農業離れ等が挙げられる。

3.3 水産業



出典：わがマチ・わがムラ

神恵内村は、1.2 でも述べたように、非常に漁業が盛んなマチである。漁業人口は 91 戸。漁業従事者は 84 人で、全員男性がつとめている。明治時代からあるニシン漁が神恵内村

を支えてきた（同総合振興局内の小樽市や、留萌総合振興局の小平町でも同様に、古くからニシン漁が非常に盛んであった。）。しかし、時代とともにニシンの漁獲高は減少し、ニシン一筋での漁業というものの継続が困難になってきたため、昭和時代からはホッケ漁やサケ・マス漁へと方向転換をした。これにより、漁業の幅が広がったようにも見えたが、神恵内近海で水揚げされる魚の種類も限られてくる上、毎年のようにホッケやサケ・マスが水揚げされるとは言えない。ホッケ漁やサケ・マスだけに頼りきることは、今後の村の存続を考慮すると、とても不安なものであった。そこで、村では、サケ・マス水産孵化場・アワビ幼稚子保育場・アワビ中間育成センター等の施設を造り、養殖漁業の積極的な取り組みを行うことで「獲る漁業」から「育てる漁業」へと力を注ぐようになった。現在では、サケやマスはもちろん、ウニやホタテ、ヒラメの養殖も行われ、「漁業のマチ神恵内」が息を吹き返している。

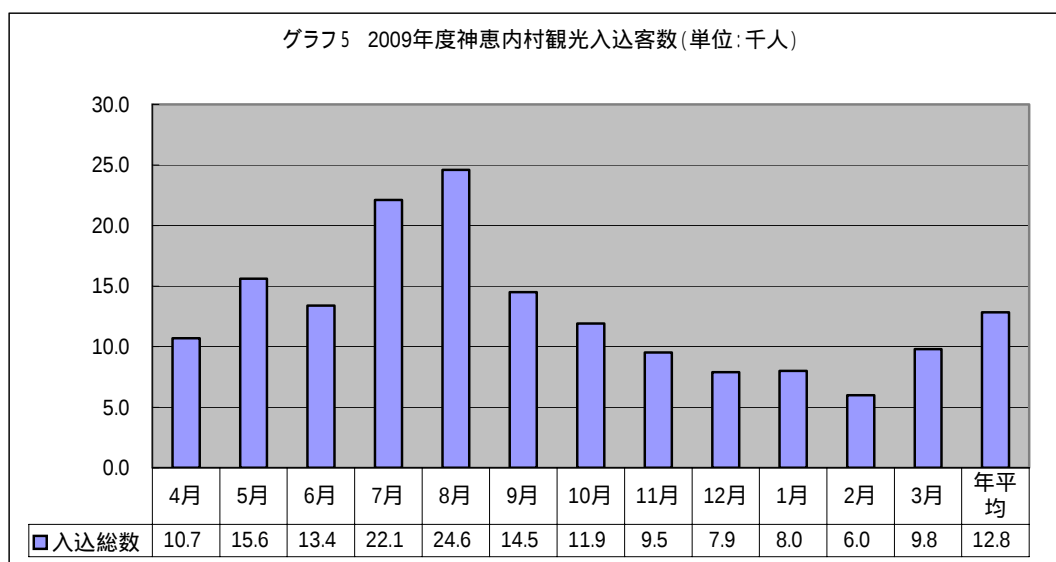
総漁獲量は 1,560t で、このうち圧倒的な漁獲量を誇るのが昭和時代から取り組んでいるホッケである（漁獲量は 905t で、全体の 58%を占めている）。次に多いのがタラ類（漁獲量は 192t。全体の 12%）であり、その次はヒラメ・カレイ類（漁獲量は 150t。全体の 10%）である（グラフ 4）。

図 4 ホッケ



出典：神恵内村漁協 HP

4. 観光



出典：北海道庁観光入込客数調査報告書

4.1 観光入込客数

観光客数のピークは、7月と8月で、どちらの月も2万人以上の観光客が神恵内村に足を運んでいる。また、5月もゴールデンウィークがあるために観光客数が多くなるといえる（グラフ5）。9月から2月にかけては、観光客数が減少している。これは、神恵内村でイベントが行われないことにより、神恵内村を訪れないと考えられる。第3次産業が村で1番発展している神恵内村にとって、観光業をいかにして活発化させるかが課題となる。

4.2 景勝地

4.2.1 中の滝

神恵内村大字赤石村国道229号線沿いにあり、知られざる名所となっている。近年になって、この滝の前で記念撮影している人が増えているが、比較的小さな滝なので、車で通る際に見過ごしてしまうおそれがあるため、注意して見ていただきたい。

4.2.2 竜神岬

その昔、竜神伝説に彩られたこの岬は、今も航路の目標として多くの船乗りたちの命を救ってきたという。竜神岬に沈む夕日は、言葉を失ってしまうほどの絶景。神恵内村を訪れた際には、1度拝見してみてもいいだろうか。

4.3 施設

4.3.1 道の駅 オスコイ！かもえない

活ホタテをはじめ、活ウニや活アワビなど、旬の味覚にあった水産品を購入することができる。駅名の「オスコイ！」とは、かつて栄えていたニシン漁で網をあげるときに使っていた掛け声である。2004年に、台風18号の被害を受け閉鎖していたが、2010年4月24日に営業を再開した。

図5 中の滝



出典：神恵内村 HP

図6 竜神岬



出典：神恵内村 HP

図7 道の駅 オスコイ！かもえない



出典：神恵内村 HP

4.3.2 神恵内青少年旅行村

神恵内漁港を見下ろす 16 万㎡の広大な敷地内には、持ち込みテントスペース、ロッジ、コテージ、バンガローなどのキャンプ施設が充実している。また、アスレチックポイントの冒険の森や森林浴におすすめの遊歩道、日本海に沈む感動の夕日や手でつかめそうなくらいの満天の星空など、最近流行のキャンプとは一味違い普段感じる事が出来ない野外生活を満喫できるスポットである。

雨天には、スポーツセンターやバーベキューハウス、更には団体用の小会議などに利用出来る交流センターも完備されている。

図 8 神恵内青少年旅行村の設備



出典：神恵内村 HP

参考 HP

- ・北海道庁「過去の国勢調査結果」：
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tuk/001ppc/co.htm>
- ・北海道庁「観光入込客数調査報告書」：
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/301-irikomi/irikomitop>
- ・農林水産省「わがマチ・わがムラ」：
<http://www.machimura.maff.go.jp/>
- ・神恵内村 HP：
<http://www.vill.kamoenai.hokkaido.jp/>
- ・ウィキペディア：
<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A5%9E%E6%81%B5%E5%86%85%E6%9D%91>